

11月23日(土) 16:30～18:00 鍼灸講演

眼窩内針術の眼疾患への応用 [原題：眶内**针刺**术及其在眼病中的**应用**]



胡追成

鍼灸推拿学博士、副主任醫師

上海針泉中医診療所

上海中医药大学鍼灸推拿学院卒業。上海市青浦区中医医院鍼灸科と上海市第六人民医院鍼推傷科に勤務した後、現在は上海針泉中医診療所の外来責任者を務め、張仁全国名老中医药專家傳承工作室のメンバーである。

臨床では対応平衡針法と董氏奇穴療法を駆使し、各種疼痛治療を得意とする。

眼疾患に対する鍼薬併用治療を専門とし、難治性眼疾患（小児近視、眼精疲労、緑内障、視神経萎縮、黄斑変性、網膜色素変性症、中心性漿液性脈絡網膜炎、視神経炎、糖尿病性網膜症など）において豊富な臨床診療経験を有する。

脳卒中後遺症、婦人科疾患（月経痛、月経不順、無月経、子宮腺筋症、乳腺増生症、乳腺線維腺腫、子宮筋腫、慢性骨盤内炎症など）、慢性鼻炎、小児アデノイド肥大、切迫性/腹圧性尿失禁などの治療にも鍼灸と漢方薬を組み合わせた治療を行い、良好な臨床効果を上げている。

このほか、穴位埋線療法、冬病夏治の三伏貼、冬季膏方といった中医特有の治療プロジェクトも実施している。